県政から築く 印西市の元気な明日

たきた（瀧田）　とし（敏）　ゆき（幸）　県議

■印西市特集■ ／２月県議会予算委員会

２月県議会予算委員会で質疑をする瀧田県議

線路敷設の公平負担で北総鉄道を安く

瀧田　県と６市２村の「北総鉄道利用促進協議会」の勉強会でしっかりと論点を整理して、枠組みに国土交通省、京成電鉄、北総鉄道の事業者、関係者も加え、より話し合いを活発化していっていただきたい。

北総鉄道が膨大な債務を抱えているという認識でよいかどうか。

交通計画課長　北総鉄道は鉄道運輸機構に約９００億円、東葉高速鉄道は約３００億円、膨大な債務を抱えています。

瀧田　北総鉄道の場合、２０１０年成田新高速鉄道開業に伴い、問題となっているのは線路敷設の公平負担の問題が、ことの本質であろうと考えています。

北総鉄道が京成電鉄１００％子会社の千葉ニュータウン鉄道に支払っている線路使用料が、運賃相当額となっているということが最近表にでてきました。北総鉄道は、この区間ではまったく利益を上げることはできない状況となっているということが一目瞭然となったわけです。

大株主である千葉県は、現在妥当と考えているのかどうか。

交通計画課長　線路使用料は、千葉ニュータウン鉄道に北総鉄道から21億円支払っていますが、管理費用10億円程度を北総鉄道に支払っているところです。

瀧田　必要な対価10億円の支払いは当たり前のこと。残りの11億円の話になるわけで、鉄道運行事業と施設の維持管理はこの枠組みでは、別の事業であるわけです。今、鉄道運行事業の方を論点にして議論しているわけです。

北総鉄道が第２種事業者として船橋の小室駅から印旛日医大の区間の鉄道運行を行っているにもかかわらず、同区間の鉄道運行事業からは１円の利益も上げることができないのは、不自然な状況ではないか。利益を上げられないというこういう結果というのは、結果として北総鉄道を利用する県民、沿線６市２村の不利益につながってしまうことを指摘しているわけです。

瀧田　成田新高速鉄道の運行に伴う線路使用料の問題について議論を行います。千葉県の報告書でも、成田新高速鉄道を運行する京成電鉄が、北総電鉄に支払う線路使用料は、維持管理費のみとなっている。これは、小室と東京高砂の間、新しい運行者が北総鉄道には維持管理費のみしか払わない。このままだと北総鉄道は線路使用料を京成１００％の子会社には、目一杯支払う一方で、京成電鉄からは経費しか頂戴できないという、極めて不自然な状態が生まれる懸念があります。

北総鉄道は、北総線の線路施設を受けて未だに１２００億円以上の負債を抱えて債務超過の状態にあるにもかかわらず、同じ線路の上を走る成田新高速鉄道は、線路敷設費用を一切負担しないのは、極めて不自然だと考えるわけです。まさに、事業者における線路敷設費用の公平な負担と利用者の公平な受益者負担原則、これは資本主義社会ですから当たり前のことをいっているつもりです。私は運賃が高いから安くしてくれとか、住民運動に乗っかるつもりはありません。あくまでも、受益者負担の原則の部分をきちっと切り取って、皆さんに説明しないとこれは、沿線の住民、県民は納得しないような状況にまできているので、これはよろしくお願いしたいと思います。

暫定税率廃 圏央道、北千葉道路に影響

瀧田　揮発油税暫定税率廃止または道路特定財源が一般財源化された場合、県民から要望の多い道路関係予算に深刻な影響が出ると思うがどうか。具体的な数字で説明いただきたい。

道路計画課長　平成20年度当初予算に係る道路特定財源について、当初予算額は４７０億７２００円、このうち暫定税率分は、軽油引取税、自動車取得税、地方道路譲与税を合わせ、２１８億１５００万円、約46・３パーセントを占めています。

瀧田　成田空港の交通アクセスにとって、死活的に重要なインフラである圏央道、北千葉道路への影響をどう考えるか。

道路計画課長　暫定税率が廃止された場合、千葉県区間の圏央道の開通時期は、木更津・茂原間で平成21年度から平成26年度に、茂原・東金間で平成22年度から平成30年度になるなど、目標より大幅に遅れることが想定されます。

また、北千葉道路の開通時期は、平成20年代半ばから平成40年代半ばになり、目標より大幅に遅れることが想定されます。

このため、成田空港へのアクセスが不十分となり、国際競争力が著しく低下すると考えられます。

「北総鉄道運賃問題」 瀧田県議ら国土交通省へ要望

瀧田県議の予算委員会質疑を受け、３月19日に北総鉄道沿線の自民党県議４名と実川幸夫代議士、県幹部が国土交通省鉄道局を訪れ、「北総鉄道問題」で実情を説明し「運賃引き下げを」と要望活動をしました。

滝田議員ら自民党４県議が、北総鉄道の運賃問題で国（国土交通省鉄道局）に要望した（３月19日）

●２月県議会自民党代表質問● 財源不足の当初予算を追及

２月定例県議会で最大会派自民党の代表質問に岡村泰明県議＝四街道市選出・４期目＝が登壇しました。

岡村県議は、財政問題、私学助成、医療の充実などを中心に質し、うち、乳幼児医療では、自民党が要望を続けてきた就学前までの通院助成は実現しましたが、なおの充実を求めました。

予算案については、「３年連続で多額の財源不足が続く当初予算は異常な事態」として知事を追及し、真の県民本位の予算のために、今後も厳しく監視を続けるとしました。

また、知事の政治姿勢では、空港戦略、道路特定財源をめぐる見解、知事のマニフェストについて質しました。

―― 千葉県議会の自民党は乳幼児医療を充実します。 ――